

2025年3月期 第3四半期 決算説明会資料

SBIレオスひふみ株式会社(証券コード:165A)

東証グロース市場250指数選定銘柄

目次

01	決算ハイライト	3
02	貸借対照表と配当政策	16
03	株主優待制度の導入	19
04	業績予想の公表	24
05	お知らせ	26

01

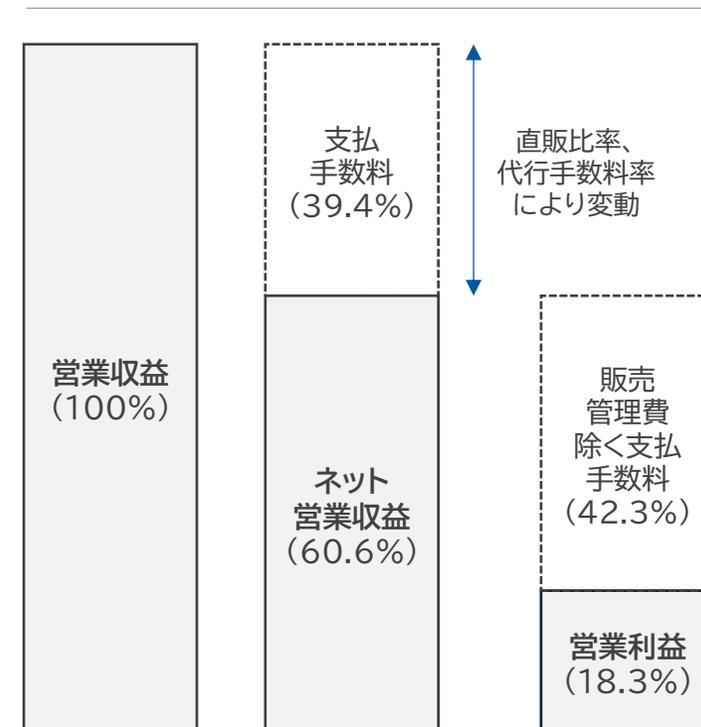
決算ハイライト

業績サマリー

- 運用資産残高は前年同期比+13.6%の1兆3,635億円。ひふみワールドシリーズ、ひふみproシリーズを中心に残高増加。
- 営業収益(ネット)は同+12.7%の5,186百万円。親会社株主に帰属する当期純利益は同+17.2%の1,131百万円。
- 営業収益(ネット)、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、第3四半期累計期間においては過去最高を更新。

	2024年3月期 第3四半期累計期間	2024年3月期 通期	2025年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比	前期末比
運用資産残高(億円)	12,002	13,688	13,635	+13.6%	-0.4%
営業収益(百万円)	7,650	10,309	8,563	+11.9%	-
営業収益(ネット)(百万円) ²	4,600	6,206	5,186	+12.7%	-
直販比率 ³	19.5%	19.7%	19.7%	+0.2ppt	0.0ppt
投信平均報酬率 ⁴	61.3bps	61.7bps	63.0bps	1.7bps	1.3bps
販売管理費及び一般管理費(除く支払手数料)(百万円)	3,232	4,425	3,617	+11.9%	-
営業利益(百万円)	1,367	1,780	1,568	+14.7%	-
営業利益率	17.9%	17.3%	18.3%	+0.4ppt	+1.0ppt
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	965	1,313	1,131	+17.2%	-
EPS(円) ⁵	9.61	12.99	10.95	+13.9%	-

営業利益内訳(構成比率)



1 当社は、レオス・キャピタルワークス株式会社(以下「レオス・キャピタルワークス」といいます。)の単独株式移転により、レオス・キャピタルワークスの持株会社(完全親会社)として2024年4月1日に設立されました。前期の数値については、レオス・キャピタルワークスの決算数値を記載しています。

2 営業収益(ネット)は営業収益から支払手数料(間接販売における販売パートナーに支払う代行手数料)を控除したものの。

3 直販比率は当該期間の最終月末時点における公募投信残高に占める直販取扱投信の残高比率。

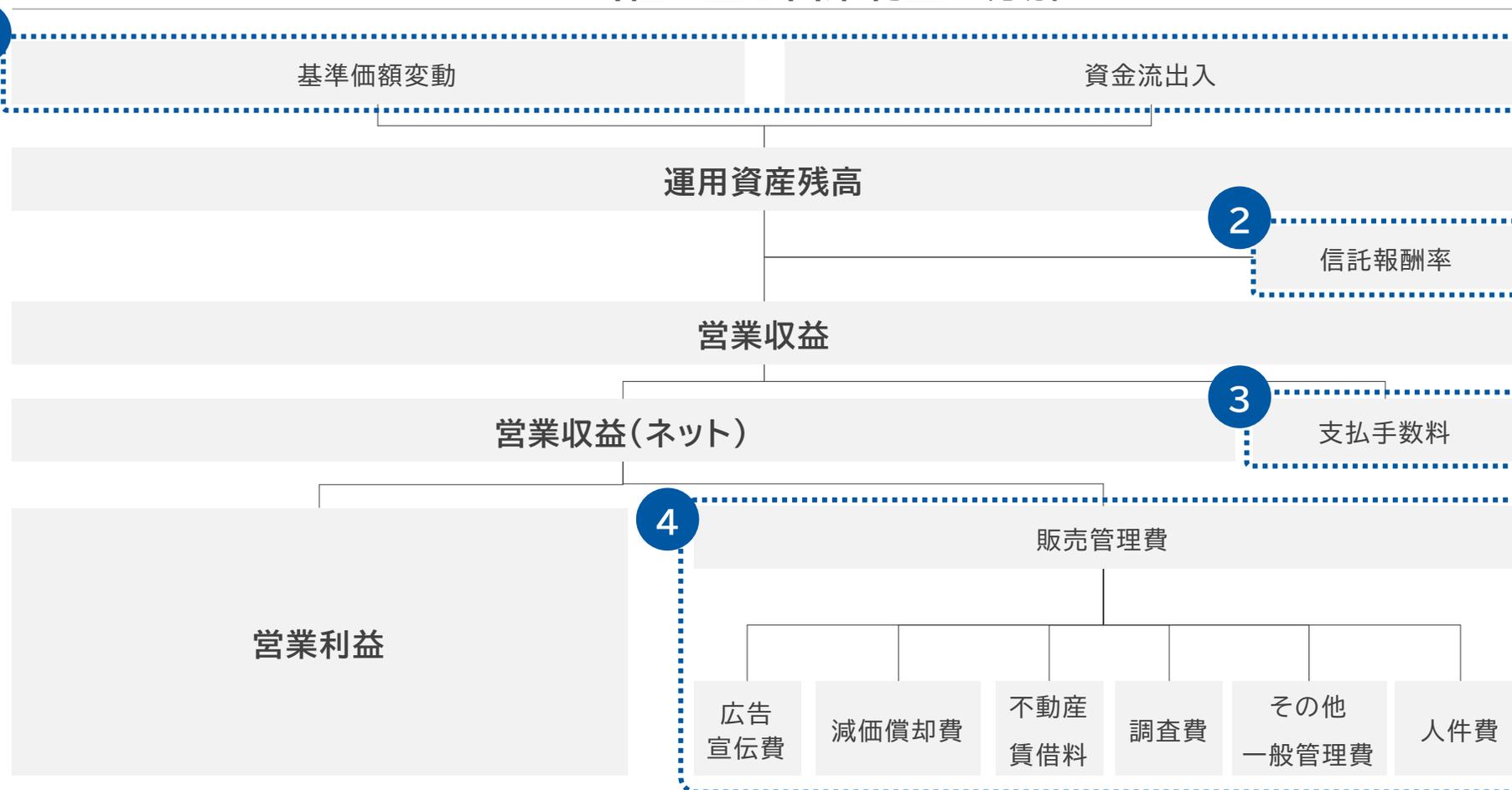
4 投信平均報酬率はレオス・キャピタルワークスが運用する公募投資信託の信託報酬率のうち、代行手数料を控除した報酬率の平均値。

5 当社は2024年10月1日を効力発生日として1株につき8株の株式分割を実施しておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、EPSを算定。

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご確認ください。

当社営業利益の要因分解

当社の主な営業利益の分解



ポイント

1 運用資産残高変動

当社の主な営業利益の始点となる運用資産残高は、当社グループが運用する投資信託の基準価額変動と資金流出入により変化する。

2 平均報酬率変動

運用資産残高に信託報酬率を掛けた金額が当社の主な営業収益。信託報酬率が高い投資信託の残高割合が増えれば、平均報酬率が上昇し、運用資産残高に対する収益率が上昇する。

3 直販比率変動

販売パートナー経由で投資信託の販売を行った場合、販売パートナーに手数料を支払う。信託報酬率が高い投資信託の残高比率が高まれば、支払手数料が増加する。また、直販比率が高まれば、営業収益に占める代行手数料比率が減少し、純資産総額に対する収益率が上昇する。

4 販売管理費率変動

主な販売管理費は広告宣伝費、減価償却費（動画制作費含む）人件費等。

①運用資産残高の変動要因

- 運用資産残高は過去最高水準で推移。
- 2025年3月期第3四半期は、基準価額の上昇に伴う解約が増加し、運用資産残高は前期末比-0.4%。
- 前年同期比では、ひふみワールドシリーズ、ひふみproシリーズを中心に運用資産残高が拡大。

運用資産残高の推移



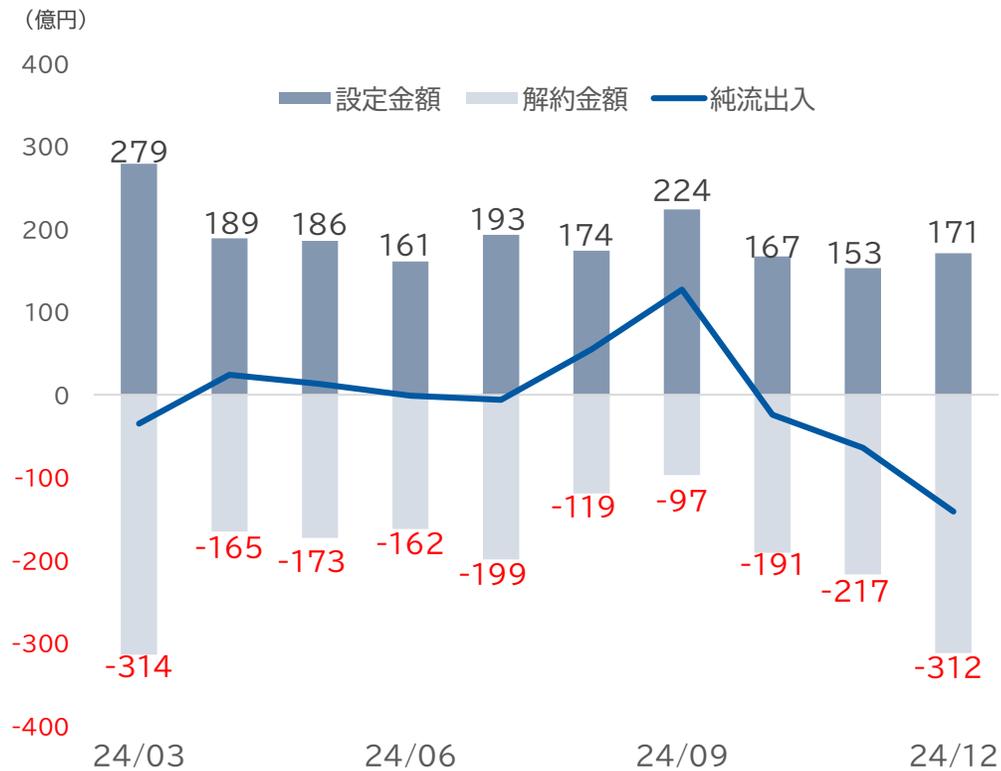
	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
資金流出入(億円)	906	421	392	327	191	214	-14	1	-566	-224	-331	-353	35	175	-229
運用損益(億円)	212	235	-131	-893	-769	-13	135	617	1,315	-4	370	2,038	121	-790	634
運用資産残高 前年同期比	24.4%	32.2%	32.6%	15.3%	-2.1%	-6.0%	-7.0%	3.3%	16.1%	11.8%	10.9%	19.6%	13.6%	10.6%	13.6%

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

① 2025年3月期の運用資産残高の変動要因

- 基準価額上昇に伴い、解約金額が増加。
- 2025年2月1日付で最高投資責任者(CIO)に湯浅光裕が就任し、運用成績の向上を目指す。

資金流入の要因分解



主な公募投信の基準価額推移



ひふみ投信、ひふみワールドの基準価額推移は2024年3月末を100として指数化。2024年12月末までの推移。

解約金額が増加するも業界平均水準で推移

- 当該期間における前月末の純資産総額に対する当月の解約金額を解約率という。
- 投資信託協会が公表している、株式投資信託(ETF除く)の解約率は、日経平均株価が直近の高値圏を越えて上昇した23年5月～6月、23年12月～24年1月など、株式市場が上昇する局面で増加する傾向にある。
- ひふみシリーズも同様に、基準価額が上昇する局面や最高値更新局面で解約率が上昇するが、平均的には業界全体と比較して解約率は低い。

ひふみシリーズと株式投資信託の解約率推移



投資信託協会のデータから当社作成。期間は2021年12月末～2024年12月末。
ひふみシリーズとは、当社グループのレオス・キャピタルワークスが運用する公募投資信託。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

主な公募投信の基準価額推移



ひふみ投信、ひふみワールドの基準価額推移は2021年12月末を100として指数化。2024年12月末までの推移。

営業上の主な取り組み

- 毎年12月、お客様との双方向のコミュニケーションを行なう大規模イベント「ひふみアニュアルミーティング」を実施。
- ダイレクト、パートナーともに、ひふみクロスオーバーproの販売促進に注力。大規模セミナー、販売パートナー支店セミナー等を実施。

お客様との双方向のコミュニケーション



ひふみクロスオーバーproに注力



YouTubeチャンネル「お金のまなびば！」はチャンネル登録者数50万人突破



YouTubeチャンネル

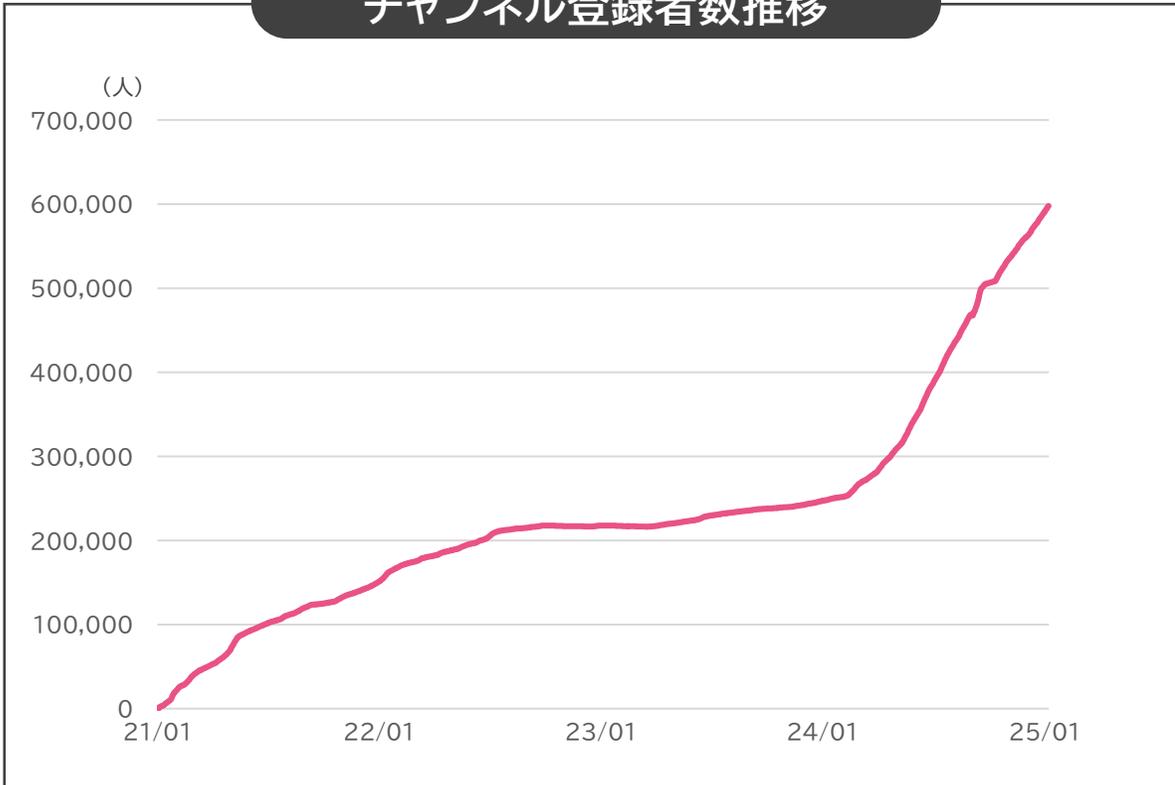
お金のまなびば! (登録者数: **59.7**万人、2025年1月26日時点)

普段は語りにくいお金や投資、経済の話について、藤野やひふみメンバーと一緒に楽しく学んでいくチャンネル。

お金のまなびば!
二次元コード



チャンネル登録者数推移



期間: 2021年1月21日~2025年1月26日

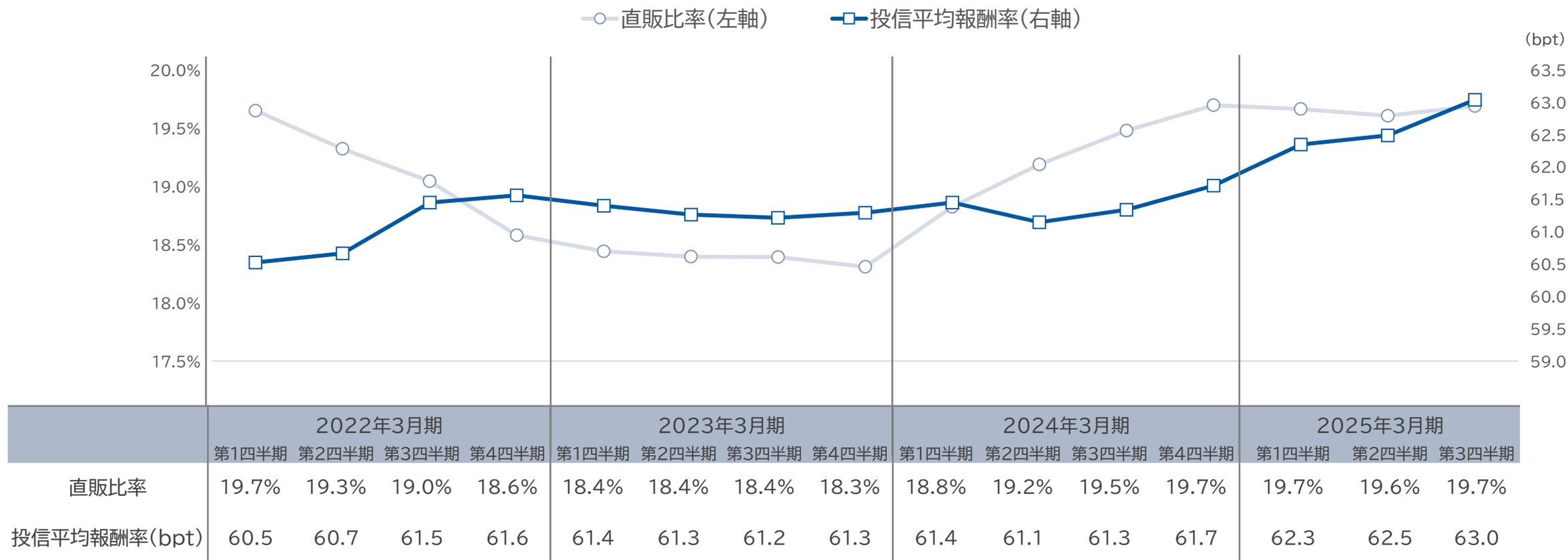
2024年再生数ランキング

- | | | |
|----|--|----------|
| 1位 | 2024年は為替の動向に注目すべし! | 708,665回 |
| 2位 | 【ニクヨとお金女子会 #4】
貯金が少額でもお金を増やす方法がありますか? | 608,688回 |
| 3位 | 「日経平均10万円」時代が来る! その根拠とは? | 496,004回 |



②投信平均報酬率と③直販比率の推移

- 投信平均報酬率、直販比率ともに上昇傾向。
- ひふみワールドシリーズ、ひふみマイクロスコープpro、ひふみクロスオーバーproの残高拡大が平均報酬率の上昇に寄与。



直販比率は公募投信残高に占める直販取扱投信の残高比率。
 投信平均報酬率は当社が運用する公募投資信託の信託報酬率のうち、当社グループが委託会社、販売会社として受け取る報酬率の平均値。

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご確認ください。

各投資信託の報酬率と投資信託残高に占める比率の推移

	報酬率(bpt)		2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期		
	直販	窓販	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
ひふみ投信	90		15.8%	15.4%	14.7%	14.2%	14.1%	14.1%	14.1%	14.0%	14.3%	14.7%	14.8%	14.9%	14.5%	14.4%	14.1%
ひふみワールド	146		3.6%	3.6%	4.0%	4.1%	4.0%	4.0%	4.0%	4.1%	4.3%	4.2%	4.4%	4.6%	4.9%	4.8%	5.2%
ひふみらいと	48		0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
ひふみマイクロスコープpro	132															0.1%	0.1%
ひふみクロスオーバーpro	145															0.1%	0.2%
ひふみプラス	45.5		49.4%	47.8%	45.9%	45.6%	46.3%	47.0%	47.4%	47.5%	47.8%	49.0%	48.7%	48.8%	47.7%	47.6%	46.5%
ひふみワールド+	73		16.5%	17.7%	20.1%	21.1%	21.0%	20.7%	20.7%	21.0%	20.4%	19.1%	19.2%	18.9%	20.0%	19.5%	20.0%
まるごとひふみ15	29		1.0%	1.3%	1.2%	1.1%	1.0%	0.9%	0.8%	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%
まるごとひふみ50	41.5		3.0%	3.3%	3.5%	3.5%	3.4%	3.2%	3.0%	2.8%	2.6%	2.4%	2.4%	1.7%	1.5%	1.4%	1.3%
まるごとひふみ100	59		5.1%	5.2%	5.1%	5.0%	4.7%	4.4%	4.1%	3.9%	3.5%	3.2%	3.0%	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%
ひふみマイクロスコープpro	79												0.8%	1.2%	1.3%	1.3%	
ひふみクロスオーバーpro	75														0.7%	1.4%	
ひふみ年金	35.5		5.3%	5.3%	5.2%	5.2%	5.3%	5.4%	5.5%	5.7%	6.0%	6.3%	6.6%	6.8%	6.8%	6.8%	6.9%
ひふみワールド年金	49			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%

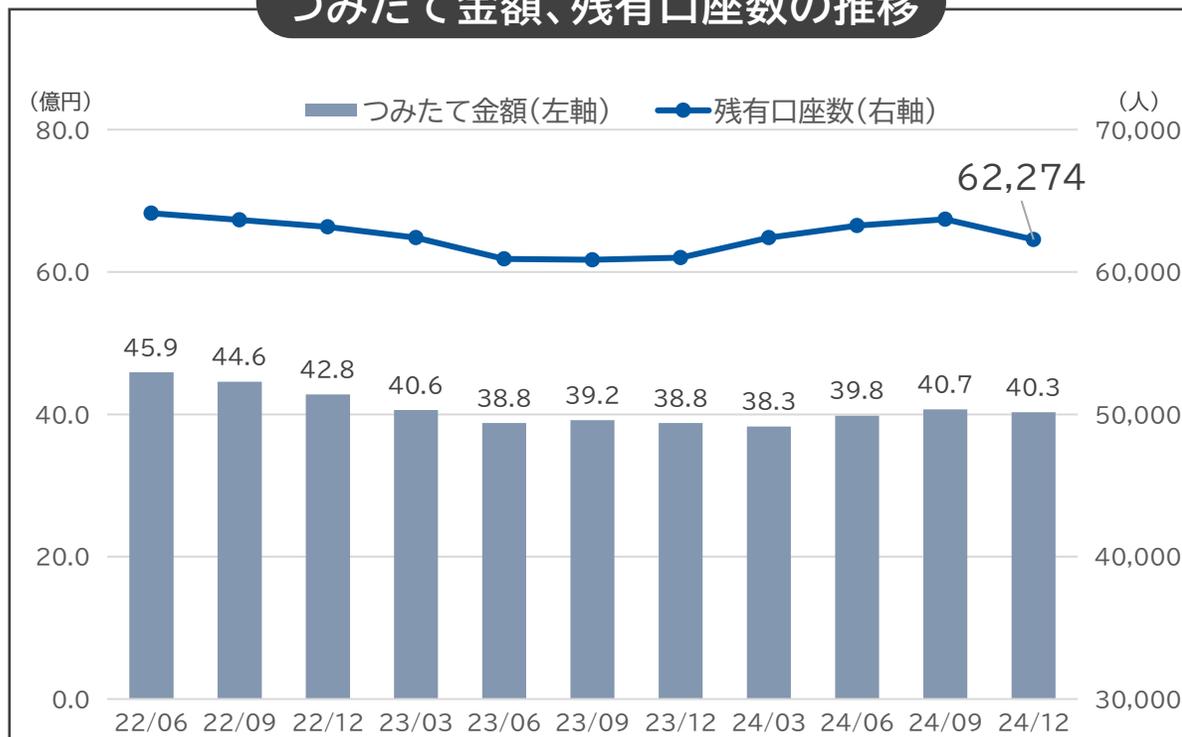
報酬率は各投資信託の信託報酬率のうち、当社グループが委託会社、販売会社として受け取る報酬率の合計値。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

直販、パートナーの状況

- 2024年9月に運用を開始した「ひふみクロスオーバーpro」の残高拡大に向けた積極的な広告投資と販売パートナー拡大に注力。
- 直販口座の新規獲得を目的とした広告投資は、投資効率を優先しアフィリエイト広告への出稿を抑制。顧客数(残有口座数)は前期末から143名減少して62,274名。
- パートナーはひふみクロスオーバーproの取扱い販売パートナー数の増加に注力。販売パートナー数は延べ数で12社増加の303社。

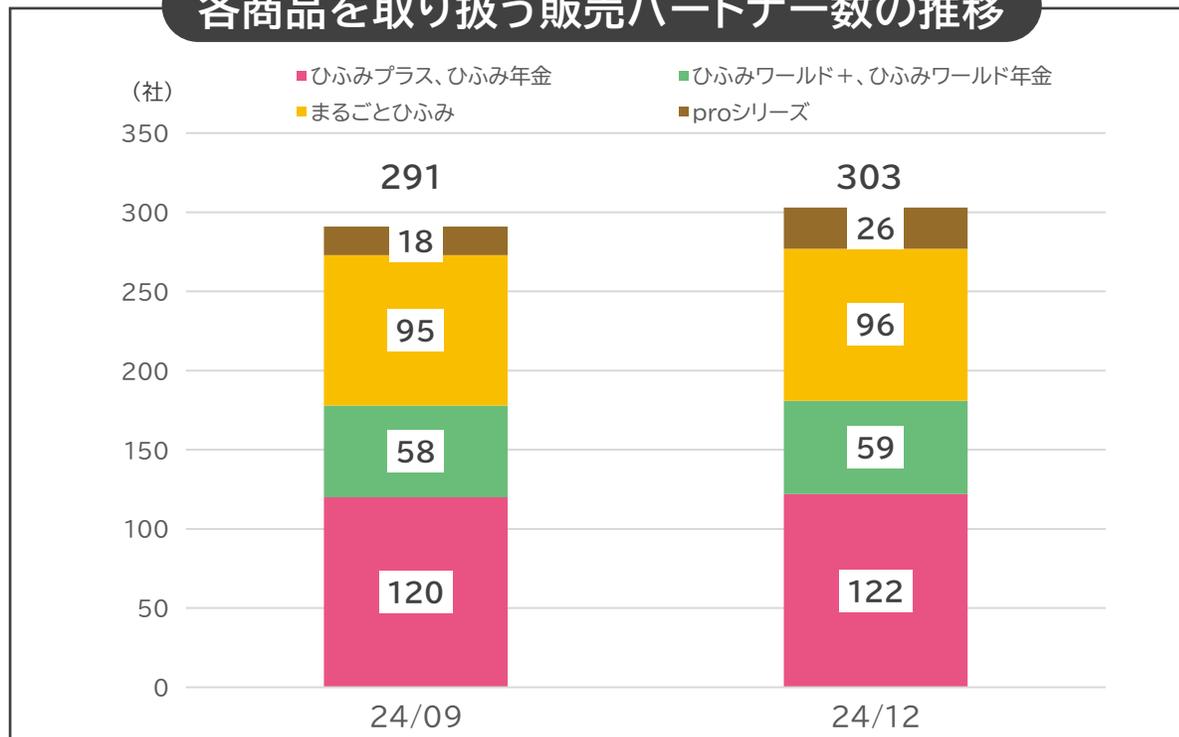
つみたて金額、残有口座数の推移



つみたて金額は、当社グループが提供する「つみたて購入」を契約いただいたお客様が実際に投資信託を買い付けた金額の四半期の合計値。
残有口座数は、四半期末において、「ひふみ投信」、「ひふみワールド」および「ひふみらいと」のいずれかを保有する顧客数

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

各商品を取り扱う販売パートナー数の推移



投資信託それぞれの取扱社数を合計したもの、例えばA社がひふみプラス、まるごとひふみ50、まるごとひふみ100を取り扱っている場合3社とカウント

proシリーズ(ひふみマイクロスコープpro、ひふみクロスオーバーpro)の状況

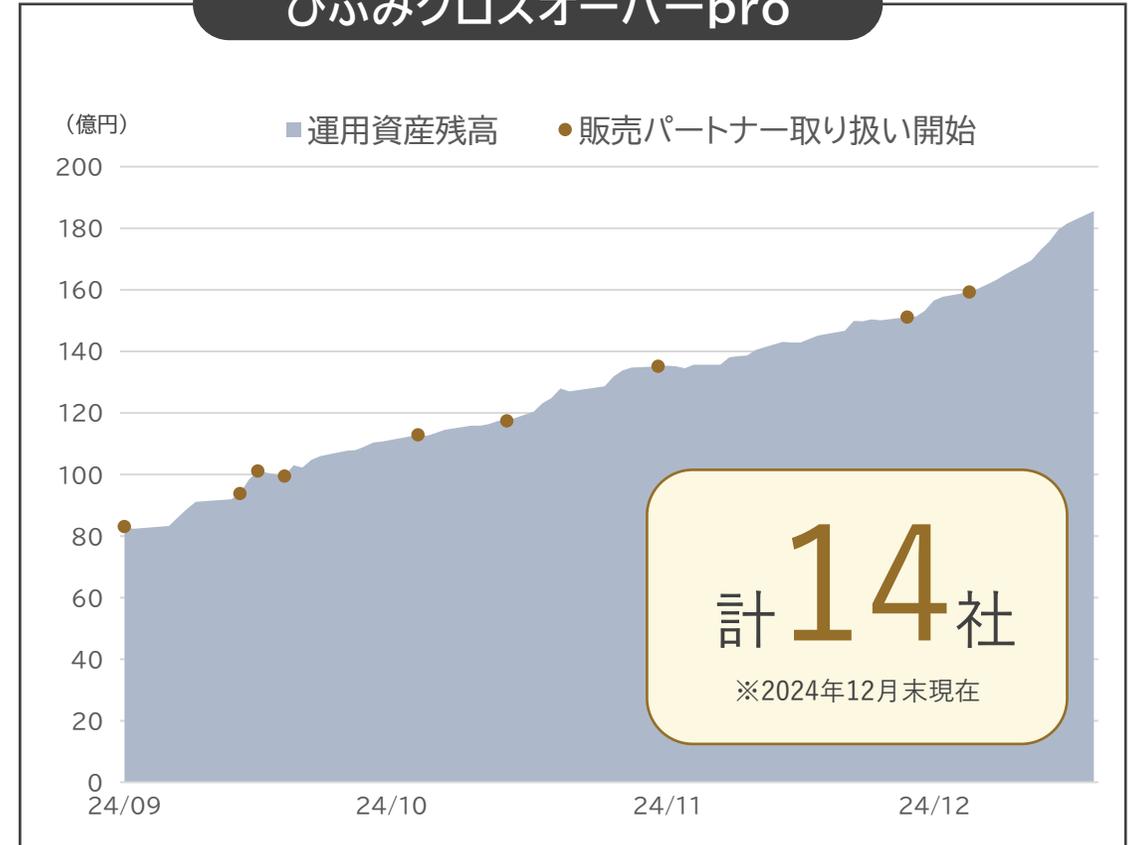
- 2024年3月に運用を開始した「ひふみマイクロスコープpro」は運用資産残高160億円を突破。
- 2024年9月に運用を開始した「ひふみクロスオーバーpro」の運用資産残高は180億円を突破。
- ひふみクロスオーバーproの販売パートナーに大手地方銀行が加わる。

ひふみマイクロスコープpro



期間:2024年3月19日~2024年12月末

ひふみクロスオーバーpro

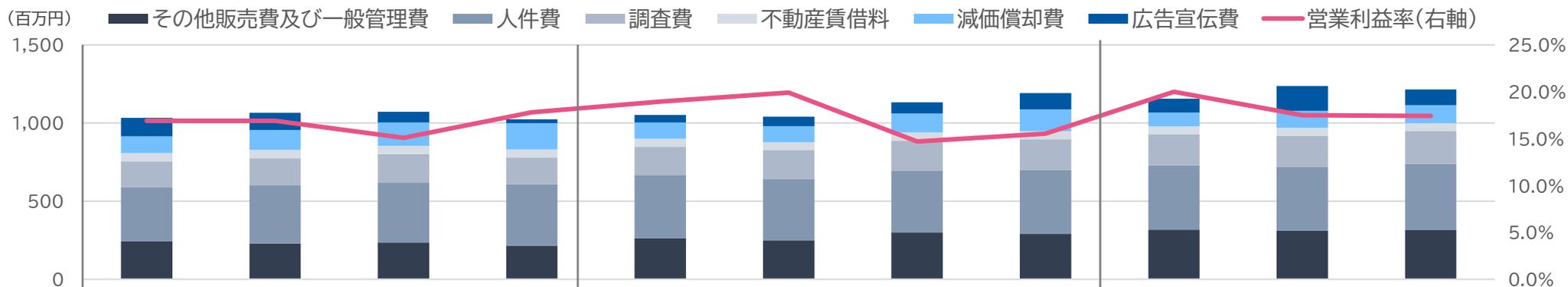


期間:2024年9月12日~2024年12月末

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

④販売管理費変動の推移と内訳

- 広告宣伝費は、ひふみクロスオーバーproへの積極的な広告宣伝投資は継続。直販口座の新規獲得広告については、広告効率を重視しアフィリエイト広告への出稿抑制。前期比+96.6%の351百万円。
- 人件費は、継続的な新規採用により、前期比+4.7%の1,249百万円。



(単位:百万円)	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
広告宣伝費	119	110	68	24	47	60	71	104	89	159	102
減価償却費	106	127	149	169	105	102	122	140	89	109	114
不動産賃借料	53	53	53	50	51	51	52	51	51	51	50
調査費	165	174	181	172	181	185	193	196	198	198	210
人件費	348	372	384	393	403	393	395	411	412	410	425
その他販売費及び一般管理費	242	229	236	215	264	249	299	289	317	310	314
営業利益率	16.9%	16.9%	15.1%	17.8%	19.0%	19.9%	14.7%	15.5%	20.0%	17.5%	17.4%

表中の数値は、四半期ごとに百万円未満切り捨ての数値を記載。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

02

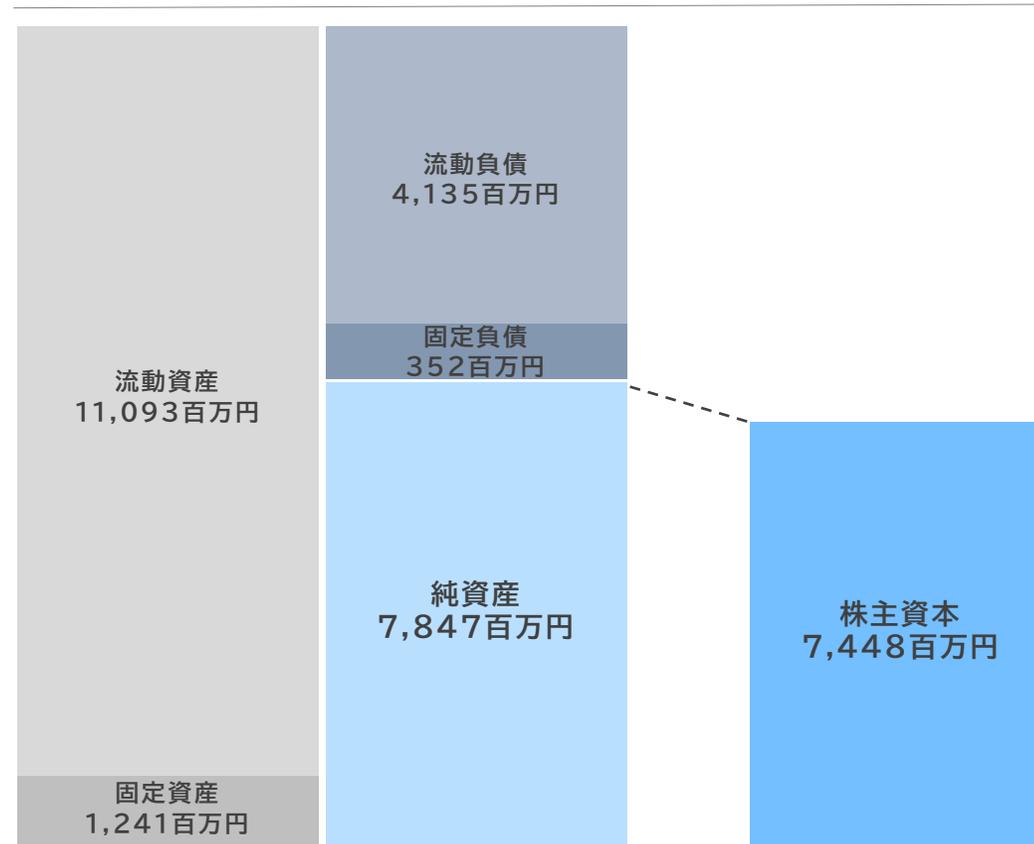
貸借対照表と配当政策

貸借対照表ハイライト

- 株主資本については、親会社株主に帰属する当期純利益の増加により前期末比+8.0%の7,448百万円(1株当たり純資産金額:72.0円²)。
- 自己資本比率は60.4%となり、今後も強固な財務基盤の維持を目指す。

(単位:百万円)	2024年3月期 第4四半期末	2025年3月期 第3四半期末	前期末比
資産総額	11,211	12,334	+10.0%
流動資産	9,897	11,093	+12.1%
現金及び預金	3,567	4,773	+33.8%
固定資産	1,313	1,241	△5.5%
負債	4,000	4,487	+12.2%
流動負債	3,665	4,135	+12.8%
固定負債	335	352	+5.0%
純資産	7,210	7,847	+8.8%
株主資本	6,897	7,448	+8.0%
利益剰余金	5,944	6,488	+9.2%
1株あたり株主資本(円)	66.7	72.0	+7.9%

貸借対照表の構造

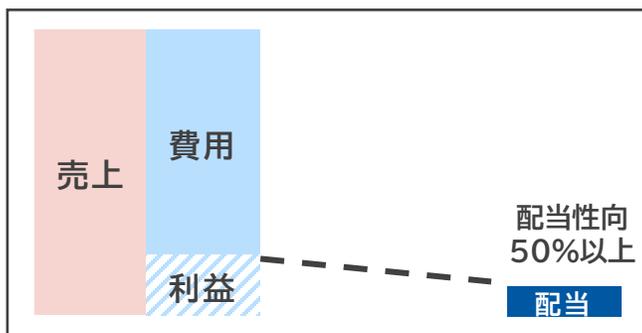


1 当社は、レオス・キャピタルワークス株式会社(以下「レオス・キャピタルワークス」といいます。)の単独株式移転により、レオス・キャピタルワークスの持株会社(完全親会社)として2024年4月1日に設立されました。2024年3月末の数値については、レオス・キャピタルワークスの決算数値を記載しております。
 2 当社は2024年10月1日を効力発生日として1株につき8株の株式分割を実施しておりますが、当該株式分割の影響を考慮して1株当たり純資産金額を算定しております。
 ※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご確認ください。

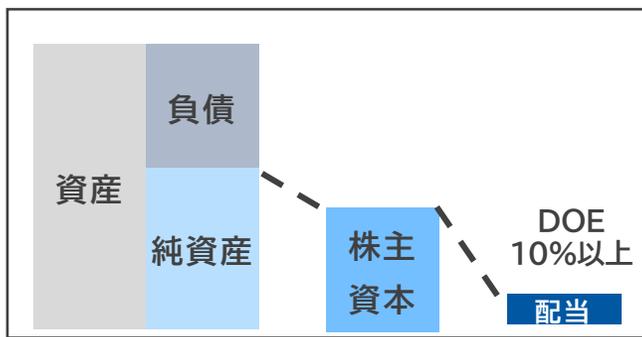
株主還元方針～配当性向50%以上、DOE10%以上～

- 成長投資を実施しつつ株主還元強化が実施可能な財務基盤が整ったと判断し、配当方針を変更。
- 親会社株主に帰属する当期純利益に対する**連結配当性向を50%以上**として、利益成長による増配を基本路線とする。
- 配当金額の変動を抑えるため、**DOE(株主資本配当率)が10%以上**となるように年間の配当金を設定。
- 今期の1株あたり配当金は**6.8円以上**を予定。親会社株主に帰属する当期純利益が上振れた場合、増配を検討。

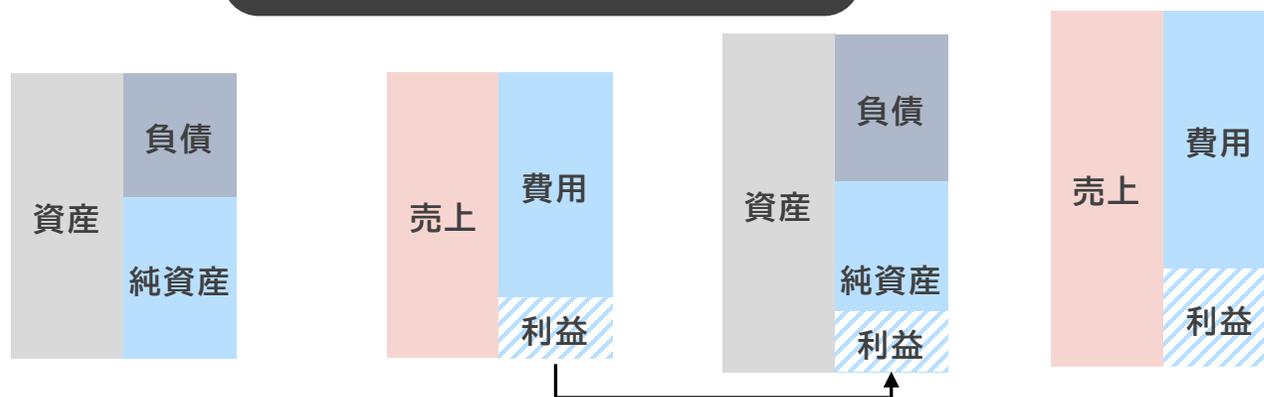
配当の基本方針



AND



配当の具体的なイメージ



配当期 配当検討指標の該当期	2025年3月期		2026年3月期	
	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期	2026年3月期
配当参考指標	1株あたり株主資本 66.76円	1株あたり利益 -	1株あたり株主資産 -	1株あたり利益 -
配当検討指標	6.8円 (DOE10%以上)	- (配当性向50%以上)	- (DOE10%以上)	- (配当性向50%以上)
1株あたり配当金(下限)	6.8円		2025年3月期の1株あたり株主資本が66.76円を超えた場合、 2025年3月期の配当下限を上回る1株あたり配当金を検討	
1株あたり配当金(上限)	EPSが13.6円を超えた場合、EPSの50%以上が 1株あたり配当金(下限)を上回るため、増配を検討		-	

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

03

株主優待制度の導入

株主優待の実施

- 株主優待の実施で株主還元の充実を目指す。
- 日本初¹、株主優待制度による公募投資信託の贈呈を実施。
- 当社グループ会社が運用する投資信託の贈呈により、株主の皆様へ投資信託の投資体験を提供。
- 直販口座を通じた投資信託の贈呈により、株主の皆様へ当社グループの強みの一つである直販サービスの体験を提供。
- 株主の皆様へ当社グループのお客様になっていただき、ご体験をフィードバックいただくことで企業価値向上を目指す。

株式分割

目的

- 株式の流動性の向上
- 投資単価の株式投資のハードルを下げ、投資家層の拡大

実施内容

- 普通株式1株につき、8株の割合。
- 最低投資金額が1万円～2万円程度に。

配当方針の変更

発表済み

目的

- 株主還元の充実
- 配当金額の変動を抑える

実施内容

- 配当性向30%以上から50%以上へ
- DOE(株主資本配当率)10%以上



株主優待

NEW

目的

- 株主還元の充実
- 当社グループが運用する投資信託の投資体験
- 当社グループの直販サービスの体験

実施内容

- 当社グループの直販口座における投資信託の贈呈または、相当金額の寄付

¹ 当社の調査に基づくものであり、事実と異なる場合がございます。

株主優待制度の新設

- 2025年3月末現在で**1,000株以上**保有している株主様を対象として、株主優待を実施。
- 当社グループ会社のレオス・キャピタルワークス株式会社が運用する**投資信託の口数の贈呈¹**、又は**相当金額の寄付²**。
- 2025年3月期末の株主様に贈呈する投資信託は「**ひふみクロスオーバーpro**」³。
- 「ひふみクロスオーバーpro」を選択された場合、**1,000株以上で2,000口**、**5,000株以上で10,000口**を贈呈。
- 「ひふみクロスオーバーpro」は、レオス・キャピタルワークス株式会社の**直販口座への贈呈^{4、5}**に限る。

ひふみクロスオーバーpro

保有株式数	贈呈口数
1,000株以上	2,000口(※6)
5,000株以上	10,000口(※7)

OR

寄付

保有株式数	寄付金額
1,000株以上	ひふみクロスオーバーpro 2,000口相当金額
5,000株以上	ひふみクロスオーバーpro 10,000口相当金額

(※1)贈呈の時期は2025年10月～11月ごろを予定しております。贈呈日の基準価額によって実質贈呈金額は変動いたします。

(※2)ご賛同いただいた株主様からの寄付金を当社がまとめて寄付いたします。領収証の発行はいたしかねます。

(※3)「ひふみクロスオーバーpro」は上場企業と未上場企業の境界を越えて投資する公募投資信託です。詳細につきましてはレオス・キャピタルワークス株式会社のホームページをご確認ください(URLはこちら：<https://hifumi.rheos.jp/lp/crossoverpro/>)。また、次回以降、贈呈する投資信託、贈呈する口数に変更になる場合がございます。

(※4)「ひふみクロスオーバーpro」を株主優待として選択いただけるのは、当社グループ会社のレオス・キャピタルワークス株式会社の直販口座を保有、又は新規開設できる方に限ります。

(※5)2025年3月末現在の当社株主名簿に記載された株主様名義とレオス・キャピタルワークス株式会社の直販口座名義が異なる場合には、「ひふみクロスオーバーpro」の贈呈は出来かねます。各金融機関に登録されている情報が最新であることをご確認ください。

(※6)2025年2月4日時点の「ひふみクロスオーバーpro」の基準価額10,380円を基準にした場合、2,076円相当。

(※7)2025年2月4日時点の「ひふみクロスオーバーpro」の基準価額10,380円を基準にした場合、10,380円相当。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

2025年3月期の株主優待贈呈商品(投資信託を選択された場合)

未上場企業・上場企業の境界を越えて投資する投資信託「ひふみクロスオーバーpro」

ひふみ
INW

ひふみクロスオーバー pro

追加型投信 / 内外 / 株式



株主優待実施スケジュール

2025年6月下旬

STEP
01

対象株主様への通知¹

株主様限定の特設インターネットサイトの登録方法などを記載したご案内を送付します。



2025年6月下旬
～2025年9月下旬

STEP
02

「特設インターネットサイト」への登録をいただく

「特設インターネットサイト」からご希望の株主優待を選択してください。なお、「ひふみクロスオーバーpro」を選択される場合は、レオス・キャピタルワークス株式会社の直販口座の開設が必要^{2、3}になります。



2025年10月
～2025年11月

STEP
03

株主優待の贈呈

- ・「ひふみクロスオーバーpro」贈呈を選択された場合、2025年10月～11月ごろにレオス・キャピタルワークス株式会社の直販口座へ贈呈を予定しております。贈呈金額は贈呈日の基準価額によって変動いたします。
- ・寄付の場合、株主様からの寄付金を当社がまとめて寄付いたします。領収証の発行はいたしかねます。

¹ 2025年3月末現在の当社株主名簿に記載されたご住所へお届けします。

² レオス・キャピタルワークス株式会社の口座開設はインターネット上での手続きに限らせていただいております。

³ 当社がレオス・キャピタルワークス株式会社の口座開設を勧誘及び推奨するものではありません。

04

業績予想の公表

2025年3月期の業績予想の公表

- 2025年3月期の業績見通し精度が高まったため、業績予想を公表。
- 運用資産残高の計画値は、2025年3月に日経平均株価が40,000円程度にまで推移することを想定し、これまでの各公募投資信託の販売状況に基づいた設定・解約金額を加味して算出。
- 営業収益は、上記運用資産残高の計画値に報酬率を乗じて算定。
- 営業費用及び一般管理費は、2024年12月までの実績値を踏まえ、今後支出予定の経費予算を加味して算定。
- 2026年3月期以降の業績予想については、今期同様、業績見通し精度が高くなったタイミングで開示予定。

	2024年3月期 通期	2025年3月期 通期(予想)	前年同期比
営業収益(百万円)	10,309	11,500	+11.5%
営業利益(百万円)	1,780	2,000	+12.3%
営業利益率	17.3%	17.4%	+0.1ppt
経常利益(百万円)	1,797	2,000	+11.2%
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,313	1,400	+6.6%
EPS(円) ²	12.99	13.55	+4.3%

¹ 当社は、レオス・キャピタルワークス株式会社(以下「レオス・キャピタルワークス」といいます。)の単独株式移転により、レオス・キャピタルワークスの持株会社(完全親会社)として2024年4月1日に設立されました。前期の数値については、レオス・キャピタルワークスの決算数値を記載。
² 当社は、2024年10月1日を効力発生日として1株につき8株の株式分割を実施しておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、EPSを算定。

05

お知らせ

SNSアカウントのご案内

各種SNSアカウントで情報発信中です。是非フォローをお願いいたします。

Instagram



Facebook



X(旧Twitter)



YouTube



メール配信登録ページのご案内

ご希望の方には、IR情報更新時にメール配信を行なっております。
メーリングリストへのご登録は以下のURLもしくは二次元コードから
当社HPのIRニュースページへアクセスし、
画像赤枠部分からご登録をお願いいたします。

● IR News

IRニュース

● IRニュース配信をご希望の方

IRニュース配信をご希望の方はこちらよりご登録下さい。

決算・適時開示 IR資料 お知らせ (IRイベント等)
 「個人情報保護宣言」を確認し同意しました。

登録 >



<https://www.sbirheoshifumi.rheos.jp/ir/news/>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は、SBIレオスひふみ株式会社(以下「当社」といいます。)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料は、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。また、過去の実績値は将来のパフォーマンスを示唆または保証するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- 本資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。